

1. 事業説明シート

(区分) 国補・県単

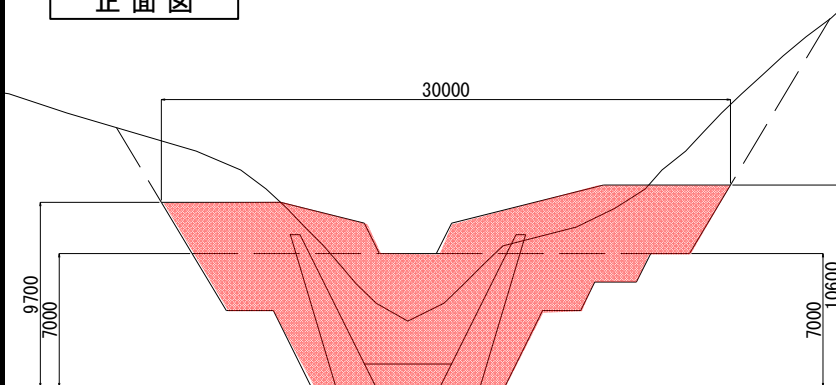
事業名	砂防事業〔通常砂防事業（国補）〕	事業箇所	大月市猿橋町殿上	地区名	桧沢（ヒノキサワ）	事業主体	山梨県																																					
（１）事業の概要 ①課題・背景 本渓流は、一級河川桂川に流下する渓流であり土砂災害警戒区域に指定されている。渓床勾配は1/3.0と急勾配で、不安定土砂、転石が堆積しており、台風や集中豪雨時には土石流発生危険が高まっている。 また、下流には人家115戸やJR中央線、第1次緊急輸送道路である国道20号などが存在しているため、土石流が発生すると甚大な被害となる恐れがある。このため、砂防施設を早急に整備し、土砂災害を未然に防止する必要がある。 ②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 0% < 70%未満※ ・重要公共施設の有無 有 鉄道（JR中央線）、第1次緊急輸送道路（国道20号） （保全対象＝人家115戸、鉄道、国道L=252m、市道738m） ※評価基準値 □副次目標 ー □副次効果 ○被災時の被害波及の防止（鉄道、緊急輸送道路）				（３）事業の妥当性評価 妥当 妥当でない ①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当 ②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当 ③経済妥当性 <table><tr><td>総事業費</td><td>300 百万円</td><td>工期</td><td>R8～R17</td><td>基準年</td><td>R7</td></tr><tr><td rowspan="5">経済効率性</td><td>費用</td><td>244 百万円</td><td>便益</td><td colspan="2">7047 百万円</td></tr><tr><td>建設費</td><td>243 百万円</td><td>一般資産被害抑止</td><td colspan="2">2072 百万円</td></tr><tr><td>維持管理費</td><td>1 百万円</td><td>公共土木施設当被害</td><td colspan="2">115 百万円</td></tr><tr><td></td><td></td><td>人心被害抑止</td><td colspan="2">377 百万円</td></tr><tr><td></td><td></td><td>その他※</td><td colspan="2">4483 百万円</td></tr><tr><td colspan="3">B/C</td><td colspan="2">28.9</td></tr></table> ※その他は、応急対策、人的被害（精神的損失） 費用便益比（B/C）は、国の採択基準1.0を超えている				総事業費	300 百万円	工期	R8～R17	基準年	R7	経済効率性	費用	244 百万円	便益	7047 百万円		建設費	243 百万円	一般資産被害抑止	2072 百万円		維持管理費	1 百万円	公共土木施設当被害	115 百万円				人心被害抑止	377 百万円				その他※	4483 百万円		B/C			28.9	
				総事業費	300 百万円	工期	R8～R17	基準年	R7																																			
経済効率性	費用	244 百万円	便益	7047 百万円																																								
	建設費	243 百万円	一般資産被害抑止	2072 百万円																																								
	維持管理費	1 百万円	公共土木施設当被害	115 百万円																																								
			人心被害抑止	377 百万円																																								
			その他※	4483 百万円																																								
B/C			28.9																																									
（２）整備内容と整備量 ①整備内容 ・砂防堰堤 1基 H=7.0m L=30.0m ・渓流保全工 L=57.0m ②着手年度 令和8年度 ③完成見込年度 令和17年度 ③総事業費 約300百万円 ⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和8年度 測量、詳細設計、地質調査 20 百万円 令和9年度 用地測量調査、用地取得・補償 20 百万円 令和10～ 砂防堰堤工事・渓流保全工工事 260 百万円 17年度 ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 ⑥既整備内容・期間・事業費 ・なし				④事業実施・規模の妥当性 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である ⑤整備手法の有効性 地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画とした ⑥環境負荷等への配慮 掘削法面等に緑化等を施し、環境負荷に配慮 ⑦事業計画の熟度 地元の要望に基づいている 総 合 評 価 [貢献度ランク：a]																																								
（４）事業位置図等 																																												

2. 添付資料シート

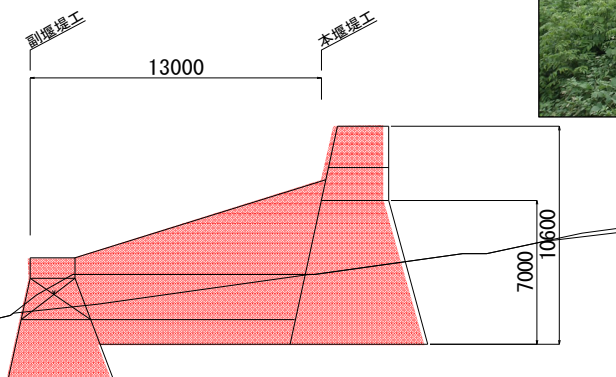
【流域概要図】



正面図



側面図



溪流保全工

